



TSUBAMATE



WASEDA University

新潟県燕市・社団法人つばめいと & 早稲田大学 地域連携ワークショップ 2018

～下町ロケットの舞台！で考えるハウスウェアの新規事業～

地域連携ワークショップとは

地域が実際に直面している地域課題について、学部も学年も様々の学生がチームを作り、地域でフィールドワークを行い、地域でのアクティビティを体験し、自治体関係者や地域住民と一緒に課題解決を練り上げ、最終的に報告会にて自治体や住民に提案する、実践型のワークショップです。

地域の魅力を知る、地域課題を深く考える、学部を横断した仲間と協働する、貴重な機会になります！

テーマ

ものづくりの聖地、燕市で新規事業を考えよう！

金属加工品の産地として全国的にも有名な燕市。最近ではTBS「下町ロケット」でも名前が広く知られることとなりました。

江戸時代の初期より、街をあげて金属に関わる製品をつくり続けている「燕市」は、過去からこれまで加工する産品を変え、そして加工する技術を高めてきました。ステンレス加工技術の発達などから新製品開発に着手し、金属製のキッチン用品・ハウスウェア産業が誕生しました。現在では国内の主要産地として、金属洋食器とともに全国生産額の約 9 割を占めています。

しかし、そんなキッチン用品やハウスウェアにおいて、国内需要の縮小を起因とした、売上・生産の停滞が生じています。包丁メーカーは海外販路の展開から業績回復させ、現在は「産業観光」による新たな販路開拓も始めています。

この燕市で、産地の強みを生かした新たな事業を考え、具体的に提案してください。

燕市の魅力

燕市は新潟県の中心に位置し、上越新幹線の「燕三条駅」は東京から約 2 時間ほどで到着できます。

「金属洋食器の街」として有名ですが、他にも、日本さくら名所 100 選に選ばれる「大河津分水桜並木」は、約 10km にわたり植えられたソメイヨシノが堤防沿いに咲き誇ります。また、江戸時代末期の禅僧であり、詩人・歌人・書家でもあった良寛が晩年を過ごし、その芸術性が円熟期を迎えた地でもあります。車で 30 分も走れば海も山も温泉もあり、休日の過ごし方も様々です。2 月は新潟県全域で雪が多く降る時期ですが、燕市は比較的雪の少ない地域であり、程よく雪のある生活を楽しめます。



募集概要

募集期間	2018年12月7日（金）10：00～12月21日（金）17：00 締切厳守
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
活動期間	2019年1月15日（火）～2019年3月15日（金）
応募条件	<u>全ての日程への参加が可能なこと</u>
募集人数	5名程度
応募方法	以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください。 ① MyWASEDA にログイン ② お知らせ一覧から「地域連携ワークショップ 2018」を検索 ③ 「地域連携ワークショップ 2018 応募フォーム」から「申請」をクリック ④ 必要事項（志望理由 400 字程度）を入力して申請  申請フォーム URL
選考方法	書類選考（※） 結果通知は、2018年12月27日（木）17:00までにWasedaメールにて通知します。 ※応募者多数の場合は、面接選考を実施する可能性があります。
注意事項	① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② 参加に掛かる費用（交通費・食費等）は参加者による実費負担です。<u>ただし、宿泊場所は社団法人 つばめいと施設をご提供いただくため、宿泊費（光熱水費等実費を除く）は無料です。設備等は下記のURLから確認してください。</u> http://tsubame-square.com/news/3190 ③ 募集要項に記載されている日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中はこのワークショップの活動が中心となりますので、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ④ ワークショップ実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。 ⑤ 選考結果に関する問い合わせにはお答えしません。
問合せ先	教務部教育連携課（ rbsso@list.waseda.jp ）

■ 宿泊施設：つばめ産学協創スクエア



皆さんが宿泊する施設です。今年 2 月に竣工したばかり！



居室です。2 段ベッドが 2 つあります。



利用者全員が集まる食堂。



キッチン用品はもちろん 100% 燕製品！



施設のお隣は銭湯があります！！

ワークショップスケジュール

①	オリエンテーション @早稲田キャンパス	2019年1月15日(火) 16:30~18:30 予定	- 参加者顔合わせ - つばめいと担当者からの説明 - 課題説明 - スケジュール、宿泊先、移動方法等確認
②	事前調査期間	1月15日(火) ~ 2月3日(火)	- 事前調査を行い、課題に対する仮説を立てる - 現地調査でのヒアリング先を検討 - 必要に応じ大学キャンパスにてグループワーク 等
③	フィールドワーク① (現地調査) @燕市	2月4日(月) ~ 2月8日(金) 4泊5日	- 燕市内にて事前調査報告、フィールドワーク(現地調査、現地企業へのヒアリング・視察等) - 事前調査で検討した先にヒアリング - 仮説に対して実際に現地調査を行い検証
④	提案の作成	2月9日(土) ~ 2月25日(月)	大学キャンパス等にてグループワーク
⑤	中間報告 @早稲田キャンパス	2月26日(火)	提案内容の中間報告
⑥	フィールドワーク② (現地調査) @燕市	3月11日(月) ~ 3月15日(金) 4泊5日	- 燕市内にてフィールドワークを行い、提案内容を検証・ブラッシュアップ - 最終日に報告会
⑦	最終報告会 @燕市	3月15日(金) 15:00~	自治体関係者、地域関係者等を前に提案発表